

事業実績報告書

様式 2
(2022年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-66	講座名	暮らしから見たフェアトレードと環境
記載日		団体名・企業名	地域国際活動研究センター

〈講座全体の概要〉(300字程度)

この「暮らし」はパレスチナでオリーブを生産している女性たちも含めます。フェアトレードは国際協力であり環境を守る活動で、名古屋は日本で2番目のフェアトレードタウンです。パレスチナオリーブはオリーブオイル製造の女性グループから、パレスチナの現状へ話し合いました。2回目はなかなか進まない日本の多文化共生をマレーシア発のゲーム体験という視点から振り返ります。はじめてのカードゲームに喜んで興奮する人がほとんどでした。3回目は若い大学院生のワークショップで参加者の明るい未来を引き寄せたいと考え、参加型でグループ内での深い話が出来ました。講座の反応は全て好評でした。事後アンケートを見てもほとんどの人が満足していました。



※写真1の説明

第1回講座で壁に映った画像を見ながら講師（左3人目）の話を聞く参加者

※写真2の説明

第2回講座で多文化共生カードゲーム「POLITIKO」を楽しむ参加者

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

コロナ下で、集まるか不安があったが、参加者全員積極的に話したり、グループ活動をしたり、楽しみながら、進んで講座に入ってきてくれたので、企画した方も楽しかった。コロナ下で主催者もマスクだけでなく、いろいろなものを用意したり、当日の名簿も連絡用に別に作ったりと作業負担は大きかった。オンラインと会場参加の両方を試したかったが、参加費の集金のことを考えると主催者だけで行うのは、難しく、断念した。実際のやりがいは会場参加の方が大きいと感じた。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3～5点、計350字程度)

1回目 イスラエル/パレスチナの現状を知った。話の内容が幅広かった。内容が非常に興味深かったのが良かった。 プログラム全体の時間を守っていただけて良かった。 2回目 ・想像以上に楽しめて勉強になった。 ・おもしろかったです。政治をカードゲームで体感できてマレーシアの現状も知ることができた。 ・時間いっぱいまで学ぶことが出来ました。 ・珍しいゲームを紹介いただいて感謝します。 3回目 ・講座のテーマが難しそうに思えたが、クレパスを使って絵を描くことで、自分の中にあるものを表現できて良かった。 ・クレパスを使った研修はユニークだった。
(2名)